

院内助産システムQ&A



当院では、院内助産システムを実施しております。

院内助産システムは、システム担当助産師が妊娠中から産後まで継続して受け持ち、お一人お一人に合わせたケアをしながら、出産・育児をサポートするシステムです。

必要なときには、いつでも医師との連携がとれる体制で、思う存分自然分娩を行うことができます。

院内助産システムについて、よくある質問をまとめましたので、参考にしてみてください。

Q1, 誰でもできるの？

・・・残念ながら、どなたでもできるわけではありません。

正常な妊娠経過であり、基準を満たしている方が利用することができます。

初めての妊娠・出産でわからないからできないと思っている方でも、自然分娩で産みたいという気持ちがあれば、助産師がサポートしていきます。

Q2, 妊婦健診はどうやっていくの？

・・・12週の妊婦健診時に、院内助産の概要を説明し、希望の有無を確認します。

システム利用の希望があり、医師より許可が得られれば、20週で改めて希望の有無を再確認させていただきます。その後、24週の妊婦健診より、システム担当の助産師が健診を担当するようになります。

システム担当の助産師と一緒に、お母さんの状態に合った保健指導（例えば、「お母さんの体の調子はどうか」、「体重をコントロールするにはどうすればいいか」、「赤ちゃんが自分の力で生まれてくるために、お母さんがどのような生活をすればいいのかわ」、「お母さんの悩みの相談」等）をしていながら、分娩に向けて一緒に心と体の調整をしていきます。

Q3, どこで分娩するの？

・・・院内助産システムでの分娩は経過に異常がなければ、LDR内（個室のお産の部屋）の小上がりに布団を敷き、そこで四つん這いや横向きなどといった、好きな姿勢で分娩することができます。もちろん、お母さんの希望であればベッドで産むことも可能です。

なお、お産が重なるなどの状況により、小上がりの無いLDRや分娩室でのお産をお願いすることがありますので、ご協力をお願いします。

Q4, 誰でも立ち会えるの？

- ・・・院内助産システムはアットホームなお産を目指していますので、お母さんやご家族の希望で立ち会う方を選ぶことができます。お子様の立ち会いも3歳以上であれば可能ですが、お子様が風邪などの感染症に罹っていない事、お子様の面倒を見てくださるご家族も一緒に過ごしていただくことが原則となります。産婦さんとお子様だけでの出産はご遠慮いただいておりますのでご了承ください。

Q5, 費用は違うの？

- ・・・妊婦健診費用・分娩費用は医師管理と同じです。

Q6, 産後のサポートはどうなるの？

- ・・・退院後、育児サポート外来、産後一か月健診等の受診時には、システム担当の助産師が関わります。

Q8, 助産院となにが違うの？

- ・・・助産院とは、正常な分娩のみを助産師だけでサポートする医院のことをいいますが、院内助産とはその名のとおり、病院内で自然分娩を助産師がサポートするシステムです。病院内で行っていることにメリットがあり、産科医師や小児科医師はもちろん、当院ではさまざまな診療科の医師がいますので、異常時にはすぐに医師の診察を受けられる状況で、思う存分安心して自然分娩を行うことができるのです。

少しでも院内助産システムについてお分かりいただけたでしょうか？

まだ、十分に分からないという方は、是非スタッフまでお声かけください。

外来に院内助産システムを利用した方の感想を掲載したファイルがありますので、興味のある方はもちろん、ない方も一度ご覧になってみてください。

妊娠中から産後までトータルでシステム担当の助産師と関わることで、信頼関係を築き、気兼ねなく相談する相手ができると思います。

一生に何度かしかない出産に向けて一緒にがんばりましょう！

尚、当院では、水中出産は行っておりません。

また、産婦さんや赤ちゃんの状態により、医師管理へのお産となることがありますのでご了承ください。

八戸市立民病院 産婦人科 院内助産システム担当スタッフ一同

平成26年7月 更新